**全日本高等学校書道教育研究会　学習指導案（作成方法の例）**

**「　学習指導案　」**

**はじめに**

授業者所属・職・名前　　○○立○○高等学校　教諭　○○　○○

（日　時　　令和○年○月○日（○）　○．○時限）

（対　象　　第○学年○組　書道○選択者　○○名）

（科　目　　書道Ⅰ）

単元設定の理由

○○○（今回の授業を設定した理由等を記述）○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

育てたい資質・能力

○○○（スクール・ポリシーを起点としたカリキュラム・マネジメントを記述）○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※ここに示したのは一例であり、各学校で適切に作成すること。四角囲いは便宜上で付けているので、必ずしも四角囲いで示す必要はない。

**１　単元名**

**「　　　　　　　　　　　　　」**（「　　　　　」単元〇）

（例）単元名　＜楷書＞書風と結構法（孔子廟堂碑、九成宮禮泉銘）（「漢字の書」単元①）

**２****内容のまとまりにおける単元構成**

　「　　　　」(　)「　　　　」　総時間数 　　時間

　（例）「Ａ表現」(2)「漢字の書」総時間数 32　時間

単元①：　　　　　　　　　　（　　　　　　　　）　全　時間

　（例）単元①：＜楷書＞書風と結構法（孔子廟堂碑、九成宮禮泉銘）全4時間【本単元】

単元②：　　　　　　　　　　（　　　　　　　　）　全　時間

　　　　単元③：　　　　　　　　　　（　　　　　　　　）　全　時間

　　　　　・

　　　　　・

単元〇

※該当する内容のまとまりにおけるすべての単元について、概要がわかる程度の計画を記す。

**３　単元の評価規準**

**（１）「知識・技能」**

**〇知識**

・～について理解している。（知表）

・～について理解している。（知鑑）

**〇技能**

・～の技能を身に付けている。（技）

**（２）「思考・判断・表現」**

　　・～について構想し工夫している。（思表）

　　・～について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（思鑑）

**（３）「主体的に学習に取り組む態度」**

・～表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（態表）

・～鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（態鑑）

※ここでは「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元を例に示した。

※目標の文末を評価規準の形にする。ただし、「学びに向かう力、人間性等」の目標から「主体的に学習に取り組む態度」の観点での評価規準を作成する場合には注意が必要。（事例参照）

※「主体的に学習に取り組む態度」の観点での評価規準は、内容のまとまりごとの評価規準は、内容のまとまり全体を広く捉えられるよう、やや漠然としたものでよいが、単元の評価規準は、単元での学習活動及び単元で育成を目指す資質・能力に適する形でより具体的に示すのが望ましい。

**４　指導と評価の計画**

・年間授業時数･･･　□時間　・「漢字の書」･･･　□時間　・本単元の配当時数･･･□時間

**（１）―　①　指導と評価の計画（概要）**

**（「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元 | 時間 | 学習活動 | 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 知表 | 知鑑 | 技 | 思表 | 思鑑 | 態表 | 態鑑 |
| 単  元 | 第　１　次（□時間）（本時） | 鑑賞 |  |  |  |  |  |  |  |
| 観点の確認 |  |  |  |  |  |  |  |
| 構想・工夫 |  |  |  |  |  |  |  |
| 作品制作① |  |  |  |  |  |  |  |
| 相互鑑賞・意見交換 |  |  |  |  |  |  |  |
| 構想・工夫の見直し |  |  |  |  |  |  |  |
| 作品制作② |  |  |  |  |  |  |  |
| 最終自己評価 |  |  |  |  |  |  |  |
| 学習のまとめ |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価 |  |  |  |  |  |  |  |
| 第　２　次（□時間） |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  | 矢印で評価の継続性を示す。  ◎ 指導に生かす評価  ● 記録に残す評価  を配置する。（事例参照） |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 単元の学習のまとめ |  |  |  |  |  |  |  |
|  | ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価 |  |  |  |  |  |  |  |

※授業研究等で「本時」を示す必要がある場合は、時間の行に（本時）として記入し、セルを網掛にする等するとわかりやすくなる。また、第１次を複数時間で構成する場合、１時間ごとに学習活動の横線を太くする等工夫をするとより明確になる。

**（１）―　②　指導と評価の計画（概要）**

**（「Ａ表現」のみでの単元例）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元 | 時間 | 学習活動 | 知識・技能 | | 思考・判断  ・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知 | 技 | 思 | 態 |
| 単  元  □ | 第　１　次（□時間） |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価 |  |  |  |  |
| 第　２　次（□時間） |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価 |  |  |  |  |

**（１）―　③　指導と評価の計画（概要）**

**（「Ｂ鑑賞」のみでの単元例）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元 | 時間 | 学習活動 | 知識・技能 | 思考・判断  ・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知 | 思 | 態 |
| 単  元  □ | 第　１　次（□時間） |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価 |  |  |  |
| 第　２　次（□時間） |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価 |  |  |  |

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」高等学校芸術（書道）P.58を参考に作成

※「９　本単元における指導と評価の計画」は「（１）指導と評価の計画（概要）」「（２）単元における観点別学習状況の評価方法」「（３）観点ごとの実現状況等を見取る方法（評価対象と学習活動）」「（４）本時における学習過程と評価の方法の具体」からなるが、（１）、（２）、（３）は、（４）の内容と呼応しており、評価方法や支援の内容、評価対象、学習活動、評価規準の記号（◎●）の場所を一致させる等の確認が必要である。

※①は「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元を例に示したため、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」のそれぞれについて、「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」に関わる評価規準を示している。②に「Ａ表現」のみ、③に「Ｂ鑑賞」のみでの単元例を示した。「参考資料」の例を誤解しないように、注意が必要。

※ここでは、単元を第２次で構成する場合の例を示したが、何次で構成していても、一つの単元において記録に残す評価を行う場面の数は、単元の評価規準１つにつき１回、つまり単元の評価規準の数と記録に残す評価の場面の数は一致することになる。

各都道府県等の様式に従って作成

**（２）****―①本単元における観点別学習状況の評価方法**

**（「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元の例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点と単元の評価規準 | | | ◆「努力を要する」状況（Ｃ）と判断される生徒への手立て |
| 知識・  技能 | 知表 | 単元の評価規準を記入 | ◆（●●を活用して　例：ＩＣＴ）、（●●する。例：具体例を示す　振り返らせる）などして、自身の構想・工夫の過程やこれまで学習したことを振り返らせることで、（知表の評価規準）について、実感的に理解できるよう支援する。 |
| 知鑑 | 単元の評価規準を記入 | ◆（●●を活用して　例：ＩＣＴ）、（●●する。例：具体例を示す　振り返らせる）などして、自身の構想・工夫の過程やこれまで学習したことを振り返らせることで、（知鑑の評価規準）について、実感的に感受し、理解できるよう支援する。 |
| 技能 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：学習活動を振り返らせたり、ＩＣＴを活用して動画や画像を再度確認させたりして、）自身の表現の意図、構想と関連付けて実感的に捉えて表すことができるよう支援する。 |
| 思考・  判断・  表現 | 思表 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、）構想・工夫とその見直し、再構築に取り組めるよう支援する。 |
| 思鑑 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、）書のよさや美しさを捉える活動に取り組めるよう支援する。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 態表 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：学習した●●の書風や表現効果、自身の取組の経緯を振り返らせ、既得の知識と技能を生かして、●●の書風に即して）表現を工夫して表したいと思えるように支援する。 |
| 態鑑 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：学習した●●の書風や表現効果、自身の取組の経緯、相互鑑賞・意見交換での他者との感じ方や捉え方や考え方を振り返らせ、●●の書風及び自他の作品のよさや美しさを感受し、）主体的に鑑賞の学習活動に臨みたいと思えるように支援する。 |

**（２）―②本単元における観点別学習状況の評価方法**

**（「Ａ表現」のみでの単元の例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点と単元の評価規準 | | | ◆「努力を要する」状況（Ｃ）と判断される生徒への手立て |
| 知識・  技能 | 知 | 単元の評価規準を記入 | ◆（●●を活用して　例：ＩＣＴ）、（●●する。例：具体例を示す　振り返らせる）などして、自身の構想・工夫の過程やこれまで学習したことを振り返らせることで、（知表の評価規準）について、実感的に理解できるよう支援する。 |
| 技 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：学習活動を振り返らせたり、ＩＣＴを活用して動画や画像を再度確認させたりして、）自身の表現の意図、構想と関連付けて（実感的に）捉えて表すことができるよう支援する。 |
| 思考・  判断・  表現 | 思 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、）構想・工夫とその見直し、再構築に取り組めるよう支援する。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 態 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：学習した●●の書風や表現効果、自身の取組の経緯を振り返らせ、既得の知識と技能を生かして、●●の書風に即して）表現を工夫して表したいと思えるように支援する。 |

**（２）―　③本単元における観点別学習状況の評価方法**

**（「Ｂ鑑賞」のみでの単元の例）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評価の観点と単元の評価規準 | | | ◆「努力を要する」状況（Ｃ）と判断される生徒への手立て |
| 知識 | 知 | 単元の評価規準を記入 | ◆（●●を活用して　例：ＩＣＴ）、（●●する。例：具体例を示す　振り返らせる）などして、自身の構想・工夫の過程やこれまで学習したことを振り返らせることで、（知鑑の評価規準）について、実感的に感受し、理解できるよう支援する。。 |
| 思考・  判断・  表現 | 思 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：意見交換で他者の捉え方や考え方を参考にしたり、これまでの知識や技能と関連させたりするよう促し、）書のよさや美しさを捉える活動に取り組めるよう支援する。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 態 | 単元の評価規準を記入 | ◆（支援の方法を具体的に記入。例：学習した●●の書風や表現効果、自身の取組の経緯、相互鑑賞・意見交換での他者との感じ方や捉え方や考え方を振り返らせ、●●の書風及び自他の作品のよさや美しさを感受し、）主体的に鑑賞の学習活動に臨みたいと思えるように支援する。 |

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」高等学校芸術（書道）P.61～63を参考に作成

※①は「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元の例を示したため、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」のそれぞれについて、「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」に関わる観点別学習状況の評価方法を示している。②に「Ａ表現」のみでの単元の例、③に「Ｂ鑑賞」のみでの単元の例を示した。「参考資料」の例を誤解しないように、注意が必要。

※例として示した語句等は、あくまでもサンプルとして示しているので、こうでなければいけない、こうすることを推奨するといった意図によるものではない。

**（３）―　①****ａ本時（本単元）における学習過程と評価の方法の具体**

**単元〇「　　　　　　　　　」第　　次（　　時間）の学習計画【本時はその　　時間目】**

**（例）単元①****＜楷書＞書風と結構法（孔子廟堂碑、九成宮禮泉銘）第１次（２時間）の学習計画**

**【本時はその１時間目】**

**（「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 時間 | ねらい・学習活動  両項目とも、学習活動を通して育成する資質・能力を学習者・指導者の双方が意識しながら取り組めるよう、工夫して記述するよう努める。 | 指導上の留意点  「・」指導上の留意点  「◆」支援内容 | 評価の方法  ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価  「観」活動の様子  「ワ」ワークシート  「作」作品  「Ⅰ」ＩＣＴ成果物 | | | | | | |
| 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 知  表 | 知  鑑 | 技 | 思  表 | 思  鑑 | 態  表 | 態  鑑 |
| 第１次 | 導  入 | 〇  分 | （3）の学習活動名と具体的な内容を記入。  単元の導入においては、「単元の見通し」として学習計画を示し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにすることが大切である。 | 指導上の留意点と支援の具体的な内容を記入。  ※ねらい・学習活動と行を揃え呼応させるとわかりやすい。 | 評価の方法は、(3)の学習活動と対応させ、見取ることのできる評価の観点ごとに評価対象を記入する。その際、指導に生かす評価には「◎」を、記録に残す評価には「●」を付ける。  ※ねらい・学習活動と行を揃え呼応させるとわかりやすい。 |  |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |  |  |  |  |
| **【評価の方法の具体】（例）**  **評価の方法の具体は、各学習活動の場面の評価として（評価の方法を具体化・明確化するものとして）、それぞれの場面に応じた「ねらい・学習活動」や「指導の留意点」をもとに設定する。その際には「（単元の）評価規準」を念頭に置くこと。**  **知表◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、〔既得の知識・観点と本時の学習の中で習得した知識・観点、併せて学習してきた〔共通事項〕の内容（該当する単元の目標に即した学習内容を記入〕について理解し、活用して、適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を【評価の対象となる活動・成果物】〔観察・ワークシート等（具体的な評価方法や評価対象）を記入〕から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **知表●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、〔既得の知識・観点と本時の学習の中で習得した知識・観点、併せて学習してきた〔共通事項〕の内容（該当する単元の目標に即した学習内容を記入〕について理解し、活用して、適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔観察・ワークシート等（具体的な評価方法や評価対象）を記入〕から（により）見取り、記録に残す。**  **知鑑◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況・進捗状況】〔「鑑賞」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、〔既得の知識・観点と本時の学習の中で習得した知識・観点、併せて学習してきた〔共通事項〕の内容（該当する単元の目標に即した学習内容を記入〕について理解し、活用して、適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動・成果物】〔観察・ワークシート等（具体的な評価方法や評価対象）を記入〕から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **知鑑●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「鑑賞」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、〔既得の知識・観点と本時の学習の中で習得した知識・観点、併せて学習してきた〔共通事項〕の内容（該当する単元の目標に即した学習内容を記入〕について理解し、活用して、適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔観察・ワークシート等（具体的な評価方法や評価対象）を記入〕から（により）見取り、記録に残す。**  **技　◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況・進捗状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、表現の意図及びそれに基づく構想の実現のために表現を工夫する中で（表現の意図及びそれに基づく構想の実現のための表現の工夫を通して）、〔基本的な用筆・運筆等〔学習内容に応じて〕記入〕の表現の技能を身に付けて表しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動・成果物】〔活動の様子の観察や作品等（具体的な評価方法や評価対象）を記入〕から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **技　●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、表現の意図及びそれに基づく構想の実現のために表現を工夫する中で（表現の意図及びそれに基づく構想の実現のための表現の工夫を通して）、〔基本的な用筆・運筆等〔学習内容に応じて〕記入〕の表現の技能を身に付けて表しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔活動の様子の観察や作品等（具体的な評価方法や評価対象）を記入〕から（により）見取り、記録に残す。**  **思表◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況・進捗状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、見方・考え方を働かせ、既得の知識・観点や〔共通事項〕を活用したり他者の見方・考え方に触れたり〔学習内容に応じて記入〕しながら構想・工夫し、広げた自身の考えを適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動・成果物】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **思表●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、見方・考え方を働かせ、既得の知識・観点や〔共通事項〕を活用したり他者の見方・考え方に触れたり〔学習内容に応じて記入〕しながら構想・工夫し、広げた自身の考えを適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、記録に残す。**  **思鑑◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況・進捗状況】〔「鑑賞」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、見方・考え方を働かせ、既得の知識・観点や〔共通事項〕を活用したり他者の見方・考え方に触れたり〔学習内容に応じて記入〕しながら書のよさや美しさを味わって捉え、広げた自身の考えを適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動・成果物】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **思鑑●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「鑑賞」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、見方・考え方を働かせ、既得の知識・観点や〔共通事項〕を活用したり他者の見方・考え方に触れたり〔学習内容に応じて記入〕しながら書のよさや美しさを味わって捉え、広げた自身の考えを適切な用語を用いて言語化しているか（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、記録に残す。**  **態表◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況・進捗状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすること〔具体的な「表現」の活動を記入することも可〕に向けて粘り強く取り組もうとしているか、その中で自らの学習を調整〔具体的な「表現」の活動を記入することも可〕しようとしているかの両側面から、主体的に学習に取り組もうとしている様子（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動・成果物】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **態表●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔「表現」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすること〔具体的な「表現」の活動を記入することも可〕に向けて粘り強く取り組もうとしているか、その中で自らの学習を調整〔具体的な「表現」の活動を記入することも可〕しようとしているかの両側面から、主体的に学習に取り組もうとしている様子（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、記録に残す。**  **態鑑◎：【評価する内容、資質・能力の実現状況・進捗状況】〔「鑑賞」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすること〔具体的な「鑑賞」の活動を記入することも可〕に向けて粘り強く取り組もうとしているか、その中で自らの学習を調整〔具体的な「鑑賞」の活動を記入することも可〕しようとしているかの両側面から、主体的に学習に取り組もうとしている様子（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動・成果物】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、【指導に生かす具体的な方法】することにより、指導に生かす。**  **態鑑●：【評価する内容、資質・能力の実現状況】〔〔「鑑賞」の評価対象となる具体的な学習活動を記入〕を通して（する中で）、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすること〔具体的な「鑑賞」の活動を記入することも可〕に向けて粘り強く取り組もうとしているか、その中で自らの学習を調整〔具体的な「鑑賞」の活動を記入することも可〕しようとしているかの両側面から、主体的に学習に取り組もうとしている様子（目標の実現状況）を、【評価の対象となる活動への取組状況、成果物、学習記録等】〔観察・ワークシート等を記入〕（具体的な評価方法や評価対象）から（により）見取り、記録に残す。** | | | | | | | | | | | |
| 第２次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |  |  |  |  |
| **【評価の方法の具体】** | | | | | | | | | | | |

**（３）―　②ａ本時における学習過程と評価の方法の具体**

**単元〇「　　　　　　　　　」第　　次（　　時間）の学習計画【本時はその　　時間目】**

**（「Ａ表現」のみでの単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 時間 | ねらい・学習活動 | 指導上の留意点  「・」指導上の留意点  「◆」支援内容 | 評価の方法  ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価  「観」活動の様子  「ワ」ワークシート  「作」作品  「Ⅰ」ＩＣＴ成果物 | | | | |
| 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知 | | 技 | 思 | 態 |
| 第１次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  | |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  | |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  | |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  | |  |  |  |
| **【評価の方法の具体】** | | | | | | | | | |
| 第２次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  | |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  | |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  | |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  | |  |  |
| **【評価の方法の具体】** | | | | | | | | | |

**（３）―　③ａ本時における学習過程と評価の方法の具体**

**単元〇「　　　　　　　　　」第　　次（　　時間）の学習計画【本時はその　　時間目】**

**（「Ｂ鑑賞」のみでの単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 時間 | ねらい・学習活動 | 指導上の留意点  「・」指導上の留意点  「◆」支援内容 | 評価の方法  ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価  「観」活動の様子  「ワ」ワークシート  「作」作品  「Ⅰ」ＩＣＴ成果物 | | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知 | 思 | 態 |
| 第１次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |
| **【評価の方法の具体】** | | | | | | | |
| 第２次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |
| **【評価の方法の具体】** | | | | | | | |

**（３）―　①ｂ本時における学習過程と評価の具体**

**単元〇「　　　　　　　　　」第　　次（　　時間）の学習計画【本時はその　　時間目】**

**（例）単元①「楷書の書風と結構法」第１次（２時間）の学習計画【本時はその１時間目】**

**（複合的な単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 時  間 | ねらい・学習活動 | 指導上の留意点  「・」指導上の留意点  「◆」支援内容 | 評価の方法  ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価  「観」活動の様子  「ワ」ワークシート  「作」作品  「Ｉ」ＩＣＴ成果物 | | | | | | | 評価の方法の具体 |
| 知識・  技能 | | | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 知  表 | 知  鑑 | 技 | 思  表 | 思  鑑 | 態  表 | 態  鑑 |
| 第１次 | 導  入 | 〇  分 | （3）の学習活動名と具体的な内容を記入。 | 指導上の留意点と支援の具体的な内容を記入。  ※ねらい・学習活動と行を揃え呼応させるとわかりやすい。 |  |  |  |  |  |  |  | **【評価の方法の具体】**  **評価の方法の具体は、各学習活動の場面の評価として（評価の方法を具体化・明確化するものとして）、それぞれの場面に応じた「ねらい・学習活動」や「指導の留意点」をもとに設定する。その際には「（単元の）評価規準」を念頭に置くこと。**  **（①ａ参照）** |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 第２次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |  |  |  |  |  |

**（３）―　②ｂ本時における学習過程と評価の具体**

**単元〇「　　　　　　　　　」第　　次（　　時間）の学習計画【本時はその　　時間目】**

**（「Ａ表現」のみでの単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 時間 | ねらい・学習活動 | 指導上の留意点  「・」指導上の留意点  「◆」支援内容 | 評価の方法  ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価  「観」活動の様子  「ワ」ワークシート  「作」作品  「Ⅰ」ＩＣＴ成果物 | | | | 評価の方法の具体 |
| 知識・技能 | | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知 | 技 | 思 | 態 |
| 第１次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |  |  |
| 第２次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  |  |  |  |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  |  |  |  |  |

**（３）―　③ｂ本時における学習過程と評価の具体**

**単元〇「　　　　　　　　　」第　　次（　　時間）の学習計画【本時はその　　時間目】**

**（「Ｂ鑑賞」のみでの単元の例）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 活動の流れ | 時  間 | ねらい・学習活動 | 指導上の留意点  「・」指導上の留意点  「◆」支援内容 | 評価の方法  ◎指導に生かす評価  ●記録に残す評価  「観」活動の様子  「ワ」ワークシート  「作」作品  「Ｉ」ＩＣＴ成果物 | | | | | 評価の方法の具体 | |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| 知 | 思 | | 態 | |
| 第１次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  | |  | |  | |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  | |  | |  | |  |
|  |  |  | |  | |  | |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  | |  | |  | |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  | |  | |  | |  |
| 第２次 | 導  入 | 〇  分 |  |  |  | |  | |  | |  |
| 展  開 | 〇  分 |  |  |  | |  | |  | |  |
|  |  |  | |  | |  | |  |
| ま  と  め | 〇  分 |  |  |  | |  | |  | |  |
| ◎指導に生かす評価  　　　●記録に残す評価 | | | |  | |  | |  | |  |

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」高等学校芸術（書道）P.47～48、P.59～61、P.64～76を参考に作成

※①は「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」との複合的な単元の例を示したため、「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」のそれぞれについて、「Ａ表現」と「Ｂ鑑賞」に関わる評価の観点を示している。②に「Ａ表現」のみでの単元の例、③に「Ｂ鑑賞」のみでの単元の例を示した。「参考資料」の例を誤解しないように、注意が必要。

※ここでは、あくまでも例として示したもので、必ずしもこの通り記述しなければならないわけではなく、各都道府県等で示された様式に基づいて記述することになる。

**５****参考資料・参考文献等**

　・授業で使用する資料、関連データ等

（ワークシート、ルーブリック、評価セッション・パフォーマンスシート、

　　アンケート等の数的資料や分析データ　等）

　・学習指導案を作成するに当たり、引用したり参考にしたりした資料等